

報道関係各位

ワークスマイルジャパン株式会社

2018年12月6日

「LINE WORKS」、J-ALERT 受信機「JARS-2000」と連動し、 災害情報を再配信する「FutureNet IP-K100」と連携

J-ALERT を受信した自治体から現場担当者へ、災害情報の自動送信が可能に
迅速な初動対応、情報伝達ミス防止を実現

仕事用の LINE「LINE WORKS」を提供するワークスマイルジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石黒 豊、以下ワークスマイルジャパン）は、センチュリー・システムズ株式会社（本社：東京都武蔵野市、代表取締役：田中邁、以下：センチュリー・システムズ）が提供する、日本トップシェアで多くの自治体など公共団体が導入する J-ALERT 受信機「JARS-2000」と連動し災害情報の再配信を行う「FutureNet IP-K100」と「LINE WORKS」が連携したことをお知らせいたします。

災害が発生した際、「JARS-2000」を導入している自治体は、消防庁からの J-ALERT を受信した後、瞬時に各局・消防機関などの担当者の安否を確認し、被災状況の情報収集・共有、状況に応じた対応方針などを伝える必要があります。しかし、これまでの場合は、J-ALERT 受信後、自治体の危機管理責任者からの連絡は電話・メールが中心になっていました。

今回、「LINE WORKS」と J-ALERT 受信機「JARS-2000」及び「FutureNet IP-K100」が連携することで、「JARS-2000」が J-ALERT 受信後、「FutureNet IP-K100」を通じて、自動で、危機管理担当者などの関係者の「LINE WORKS」へ「JARS-2000」が受信した災害情報が送信されます。これにより、災害発生時、各所における迅速な初動対応や情報伝達ミスの防止につなげることが可能です。

また、災害対応中に自治体の各部門責任者と現場担当者間で「LINE WORKS」を使うことで、PC を使わず、スマホやタブレット端末を使ったチャットでの安否確認や、災害対応方針、対応マニュアルの展開、現場写真の共有を行うことができ、現場の状況確認、対応の進捗状況の共有などを迅速に行うことも可能となります。

ワークスマイルジャパンは、今後も、様々な状況でのコミュニケーションに「LINE WORKS」をご活用いただけるよう、機能改善・連携強化に努めてまいります。

「JARS-2000」とは



全国瞬時警報システム（通称 J-ALERT）の新型情報受信機です。本装置は国民保護情報、緊急地震速報、気象警報等を情報取得することができます。尚、本製品は新型受信機分野ではトップシェアになります。

「FutureNet IP-K100」とは



JARS-2000 からの情報を再配信する告知端末です。再配信先は LINE WOKSをはじめとし、接点や音声等を配信することができます。また LTE モジュールを搭載した FutureNet IP-K100/L もご用意しております。

「LINE WORKS」とは

LINE WORKS は、LINE の使いやすさはそのままに、仕事でも安心の「仕事仲間と使える LINE」です。チャット機能に加え、無料通話、掲示板、アドレス帳、メール、予定表、ファイル共有、ログ管理など仕事に必要なすべての機能を 1 つのアプリで網羅。すべての機能をスマートフォンだけでストレスなく利用できるよう設計されています。LINE を使ったことがあれば導入教育不要、はじめて仕事でチャットを利用したい方に最適なツールとなっています。

■会社概要

社名：ワークスマイルジャパン株式会社

本社：東京都渋谷区神宮前 1-5-8 神宮前タワービルディング 11F

設立：2015 年 6 月

代表者：代表取締役社長 石黒豊

資本金：30 億 2,000 万円

URL：<https://line.worksmobile.com/jp/>

※記載の会社名、製品名は、それぞれ会社の商標または登録商標です。

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ワークスマイル広報事務局（㈱カケル内）

担当：山崎

TEL：070-4471-4264

Mail：info@kakelu.com